



▲広島市白木町公民館でベトナム理解講座の講師をつとめる

初のベトナム留学生

私の出身地はベトナムです。なかでも、お米で有名なメコンデルタのカント県です。カント大学の農学部を卒業した後、同じ大学の植物生理学科で研究していましたが、専門をより学びたいと思ったので、日本へ留学を希望しました。

広島大学総合科学部の倉石先生のおかげで、国費留学生になることができ、約三年間、倉石先生と桜井先生のご指導により私の研究はたいへん進みました。

不運にも一九九三年二月二日に倉石先生が亡くなりましたが、その後、桜井先生から教えていただき、私は博士課程後期に入学し

日本にいる私

生物圏科学研究科
博士課程後期二年
◆レ・バン・ホア



ました。
今も同じテーマ「生理学的、生化学的な植物のアルミニウム毒性の研究」をやっています。
この研究はたいへん難しいのですが、酸性土壌の問題は、植物のアルミニウム毒性に関係することなので、

解明したいと思います。
広島大学では、私が初めてのベトナム留学生でした。来日前に日本語を習わなかったため、生活ではいろいろ困ったことがあります。

もちろん英語は学んでいましたが、私にとって英語も外国語なので、あまりうまく話せません。

それで、日本語を勉強しなければならぬと思いました。植物生理学の専門を勉強しながら日本語を習って、一週間に二回日本語授業に参加しました。

いっしょうけんめいがんばっています。今でも日本語はまだ下手です。ただ、少しずつ言葉がわかるようになってきたので生活する上で困ることは少なくなっています。

ベトナム理解講座を
通しての国際交流

この間の広島アジア競技大会では、その準備のため、い

ろいろなアジアの国々理解講座が開かれました。ベトナムについても、一九九二年ごろからベトナム理解講座がスタートしました。私は本当は社会の専門ではないのですが、そのうち八回講師をしました。若い人から高齢の人までたいへん多くの方が参加してくれて、熱心に勉強してくれました。

私もこの講座をやってみて、ベトナムと日本を較べることになり、私自身たくさん日本語や日本文化や日本習慣を習うことができて、たいへんうれしく思いました。

アジア大会はすばらしい大会だと思えました。また、スポーツだけでなく、国際交流でたいへん意義があったと思います。

私としてもこれからいつそう研究に力を入れてゆきます。
同時に、機会があれば、日本の皆さんにベトナムを理解してもらうため努力したいと思います。

プロフィール

(LE VAN HOA)

◆一九五九年ベトナムのカント市に生まれる

◆一九八一年カント大学農学部卒業

◆一九九〇年広島大学総合科学部に留学

◆現在生物圏科学研究科博士課程後期在学中

今日は！

XIN CHAO